

## 第256回理事会報告(つづき)

### 新規現職会員 186人(254口)に

本年度の新規加入は186人(254口)でした。加入者数は前年度に比べ若干減少しています。今後、教員数が減少していくことが予想されています。どうかこの程度の新規入会者を確保したいものです。今回の募集に当たり、関係4団体並びに退職会員のみなさまに感謝いたします。今後も機会があれば現職の方々に本会の良さをお伝えいただき、入会をお勧めいただきますようお願いいたします。

### 観劇会の実施について

新型コロナウイルス感染予防のため、本年度の観劇会は中止とさせていただきます。感染状況が鎮静化し、来年度には開催できることを期待しています。

### 新規退職会員 278名(366口)

本年度は278人(366口)の方が退職会員に移行されました。移行率は69.5%で、前年度より約3%増加し、口数では108口の増加となりました。

退職予定者が前年度300人に対し、今年度は400人と多かったことが大きな要因となったことは確かです。また、後期高齢者についての医療制度の変更が予想されたことも

影響しているのではないのでしょうか。

本会の財務状況は堅調に推移していますので、本会のメリットをご理解いただき、今後も多くの方が退職会員に移行していただくことを期待しています。

### 退職互助会説明会について

コロナウィルス感染防止のため、本年度も退職予定者の方に説明会資料をお送りするとともに、本会ホームページにて説明会のパワーポイント資料等を公開しました。

### 公益目的事業について

昨年度から高校の助成金額を1部活動20万円に増額し、助成校数を運動部と文化部でそれぞれ5校として助成しました。(特別支援学校対象での助成金の変更はありません)

- 【運動】中村(体操)、春日井工科(サッカー)、犬山(硬式テニス)  
小牧南(野球)、愛教大附(サッカー)
- 【文化】旭丘(競技かるた)、瀬戸北総合(和太鼓)  
小牧工科(マチゲバンド)、愛西工科(広報・写真)  
岡崎西(吹奏楽)
- 【特支】名古屋聾(陸上)、名古屋特支(ボッチャ)  
いなざわ特支(バス)、安城特支(フライングディスク)

### 全教互・陳情署名活動にご協力ありがとうございました

本会が加盟している全国教職員互助団体協議会は、毎年社会保障制度の維持と充実等を求めて国会に向けて陳情署名を行っています。本年度も7月発行の広報101号と一緒にお届けした「全ての世代が将来にわたって信頼できる年金・医療・介護等の社会保障制度の確立等を求める陳情」署名用紙に938名の方々の署名をいただきました。今後も年金・医療等の社会保障制度の充実を求めて努力していきます。多くの退職会員のみなさまのご協力に感謝するとともに、来年度も是非ご協力をお願いいたします。

## 制度・財政検討委員会の報告(その2)

### <審議概要>

- (1) 給付原資の現状分析及び将来見通しについての関連事項
  - ・退職準備事業での三菱UFJ信託銀行への支払手数料を毎年約830万円支払うことは退職準備事業会計を圧迫することになるが、現職会員数を確保し維持していくことは大切である。
  - ・事務局内に掛金控除に関する**自前のシステムを構成**するための見積もりを取り、検討を進める。
- (3) 国の医療制度の改定に対応した本会の制度のあり方についての関連事項
  - ①責任準備金の増加について 余剰金から**約2億円責任準備金に積み増し**を行う。
  - ②療養補助金を除く退職互助事業について、(2) 資産運用及び将来見通しについても踏まえて
    - ・療養給付についてはきめ細かく対応しているので、このメリットを維持することが大切。
    - このため、療養給付以外の退職会員事業についても検討の幅を広げ対象とすることもあり得る。
  - ③療養補助金の給付のあり方についての決定時期について
    - ・75歳以上の2割負担となる会員の範囲や定年延長に関連する退職時期等まだまだ不明確な点が多い。
    - ・できるだけ実態を反映したものにすため、**令和6年度に制度改正を踏まえた給付のあり方についての方向性を打ち出す**。給付制度改正となった場合は令和7年度からの実施とする。